



次のニーズは？

ポゾリスはいつも未来の卵を温めています。

ポゾリスの混和剤研究開発は、コンクリート工学の進歩を願い休む事なく続けられています。混和剤が常に高い品質性能を保持し、建設業界の特殊ニーズにも最適な製品を提供できるのは、この日々のたゆまぬ努力の積み重ねに他なりません。ポゾリスはさらに広く建設業界に貢献したいと考え、弊社はもとよりサンド・グループのスイス、イタリア、米国の強力な研究開発体制をバックボーンとして、新たな社会ニーズを求めて絶えず新しい目標に挑戦しています。

常に一步先を行くポゾリスの混和材料

高性能AE減水剤もますます充実。

コンクリート用化学混和剤
ポゾリス (標準形・遅延形・促進形)

高耐久コンクリートの必需品。

流動化剤
NP-10・20・20R

塩化物総量規制を強力にクリア。

鉄筋コンクリート用防せい剤
NR-1900 (財)日本建築センター評定品

※その他、用途使用条件に応じた各種製品があります。

-15℃の外気温でもシート養生でOK。

耐寒用特殊混和剤
ノンフリーズ

大規模な地下構造物の地打ち工事(直接法)に威力。

膨張コンクリート用特殊混和剤
タイムック

広面積・大木梁でも高品質。

高品質水中コンクリート用混和剤
アクリス-12

最新の独特性能を誇るメント系急結剤も新発売。

吹付けコンクリート用急結剤
QP-55、QP-500・500LS

据付工事の理想を極めた高性能無収縮材。

無収縮グラウト・モルタル材
エムベコ、マスターフロー

施工後45分で通行可能。

コンクリート用超早強度補修材
マスターセット-45

●資料進呈 詳しくは、本社営業本部または、最寄りの営業所にお問合せください。



製造元 **日曹マスタービルダーズ株式会社**
販売元 **ポゾリス物産株式会社**

本社/東京都港区六本木3-16-26 TEL.582-8813(直)、FAX.583-3800
営業所/札幌、仙台、上越、高岡、松本、宇都宮、東京、千葉、神奈川、静岡、名古屋、大阪、高松、広島、福岡、鹿児島

土木学会論文集第6部門購読のお願い

論文集第6部門は昭和59年度より「新しい技術の流れに対応し、大きい割合を占める現場を担当する会員の要望に応えるべく」工事マネジメントシステム、設計・施工・補修技術、現場公害対策、建設労務、契約・積算等を対象に発刊され、現在にいたりました。

最初は論文集の定着をはかるため、会員全員に配布してまいりました。3年の経過とともに、御陰様をもちまして活動も活発かつ定着しつつあり、他の5つの部門と同様、昭和63年度より有料化し、独立した歩みをとることになりました。

上記趣旨を御理解のうえ、また第6部門は広い分野を対象にしており、活動をより活発に実施するためにも、会員皆様の積極的購読をお願い申し上げます。

なお、発行回数は年間2回（9月、3月）、購読料は年間2000円となります。

有料化、独立化に伴い投稿要項の一部が変更になります。主なる変更点は下記の通りです。

記

投稿要項（抜粋）

8. 掲載別刷代

8.1 第1部門～第6部門までの掲載別刷代は、以下のとおりとする。依頼原稿については掲載別刷代を徴収しない。

内容区分	単 位	掲載別刷代	備 考 ^{注2)}
ノ ー ト	4 ページまで	15 000 円	別刷 50 部とも
論 文・報 告	6 ページまで	20 000 円	別刷 50 部とも
〃	7 〃	30 000 円	〃
〃	8 〃	35 000 円	〃
〃	9 〃	60 000 円	〃
〃	10 〃 ^{注1)}	85 000 円	〃

注 1) 英文で執筆されたものは12ページまでとする。

2) 英文で執筆されたものは“別刷100部とも”とする。

8.2 第6部門の掲載別刷代は当分の間8ページまで無料とする（別刷を含む）。9ページを超えるものは、8.1項を適用する。

土木学会論文集編集委員会

委員 長 山田善一
副委員 長 中村良夫
幹事 長 魚本健人

第1小委員会

委員 長 福本 喟 士
委員 西岡 隆 裕
〃 吉田 藤 一
〃 坂井 博 昌
〃 寺田 英 一
〃 渡辺 啓 行
〃 渡辺 啓 行
幹事 小長井 一 男
編集調整会議幹事 川上 英 二

第2小委員会

委員 長 高棹 琢 馬
委員 高橋 保 臣
〃 虫明 功 矩
〃 松尾 友 樹
〃 沢本 正 司
〃 高山 知 夫
幹事 高灘 岡 和 彦
編集調整会議幹事 磯部 雅 彦

第3小委員会

委員 長 足立 紀 尚
委員 河野 伊一郎
〃 足立 格一郎
〃 小林 正 樹
〃 佐々木 康
〃 矢野 弘一郎
幹事 西好 一
編集調整会議幹事 山田 恭 央

第4小委員会

委員 長 中村良夫
委員 中渡 井上 貴 介
〃 渡井 上 矩 之
〃 竹内 内 伝 史
〃 森杉 壽 芳
〃 山形 耕 一
幹事 岡田 憲 夫
編集調整会議幹事 内山 久 雄

第5小委員会

委員 長 池田尚治
委員 藤井 昭 博
〃 森吉 征 夫
〃 青山 柳 弘 美
〃 丸山 下 山 久 一
幹事 丸山 下 山 久 幸
編集調整会議幹事 丸山 下 山 久 幸

第6小委員会

委員 長 上野 芳 久
委員 上野 芳 久
〃 野田 昭 一
〃 姫路 正 記
〃 山口 正 栄
〃 田沢 橋 勇
〃 高橋 所 嘉 隆
〃 高番 原 勝 節
幹事 高番 原 勝 節
編集調整会議幹事 高番 原 勝 節

討 議 に つ い て

この論文集に掲載された論文に対する討議はすべて土木学会論文集編集委員会あてとし、その締切期日は昭和63年9月20日とする。

All communications and discussion (open until September 20, 1988) relating to the papers included in the Proceedings should be addressed to the Editorial Committee on Technical Publications, Yotsuya 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo, 160 Japan